

雪に関する情報と九州の降雪特性 ～報道機関向け

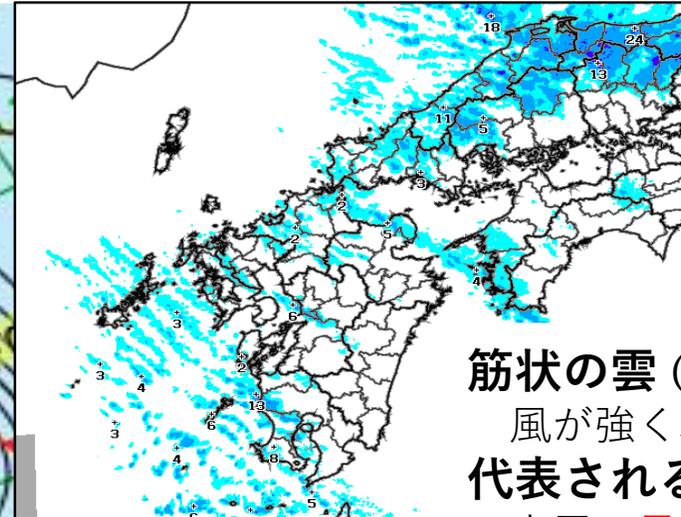
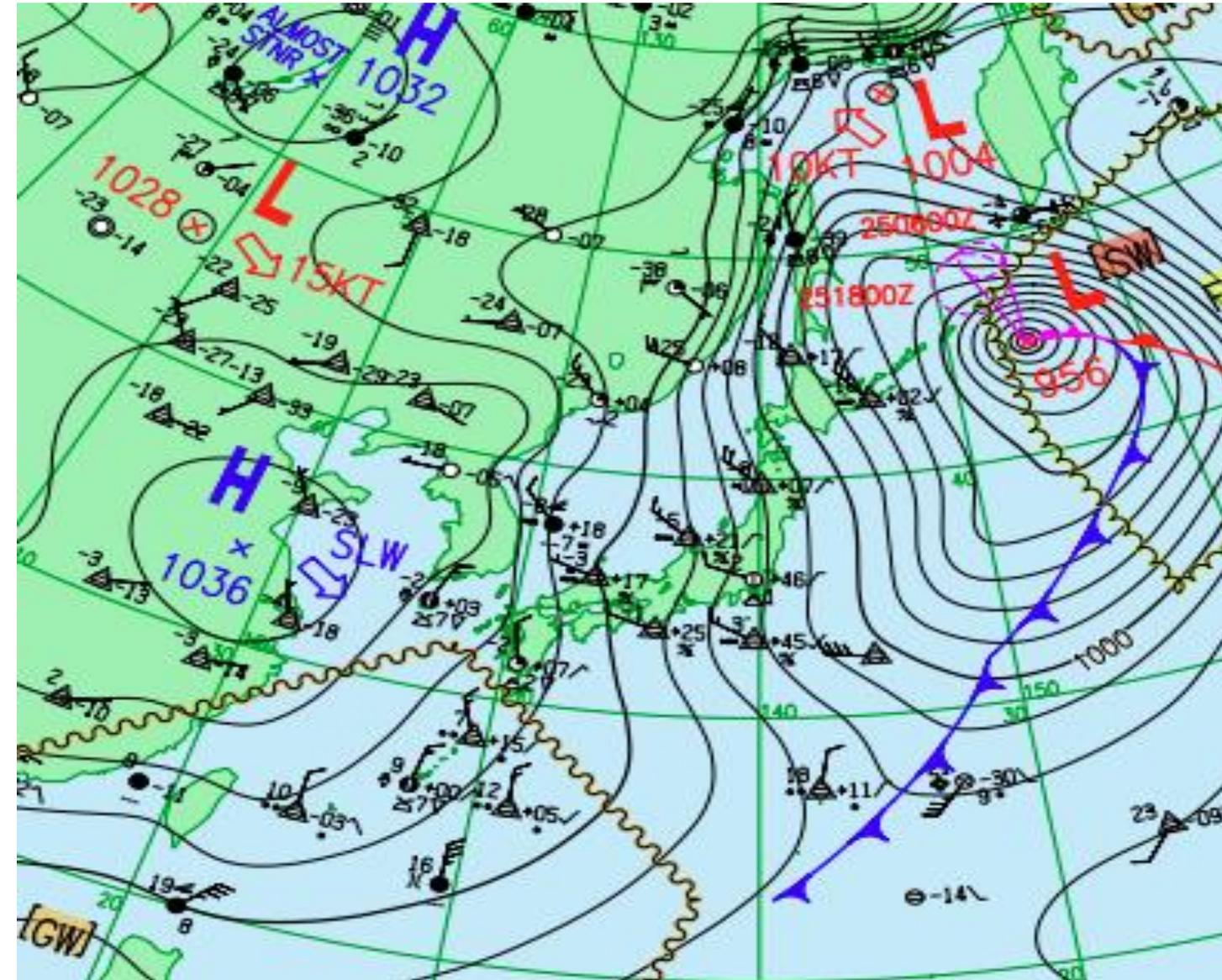
福岡管区気象台気象防災部予報課
渡邊剛

本日の内容

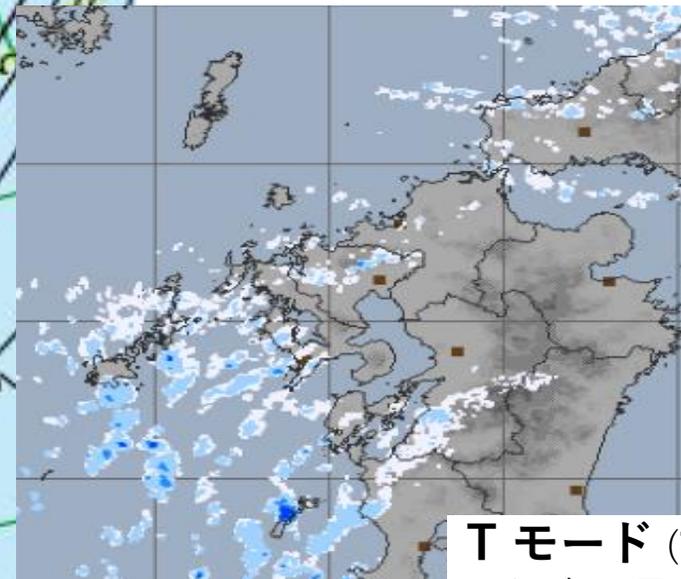
- 大雪のパターン（3つほど）
- 大雪の目安
- 大雪に関する気象情報
 - 警報基準など
 - 関係機関との共同発表や会見などについて
- 気象庁HP「今後の雪」

現象の特性を把握 ～代表的な大雪パターン1

冬型気圧配置



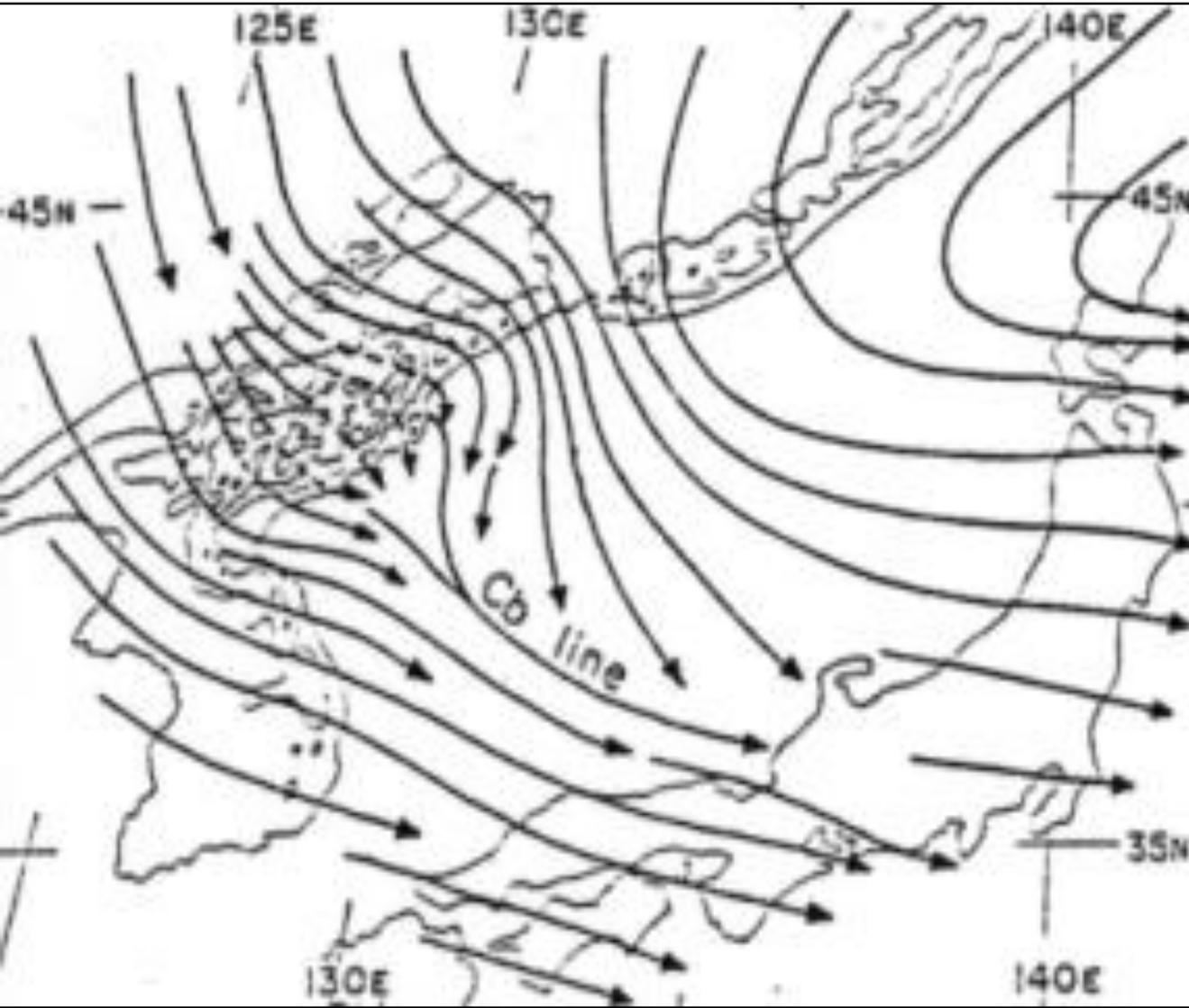
筋状の雲 (Longitudinal-mode)
風が強く、気温は低く、乾燥
代表される注警報
大雪、暴風雪、低温、(着雪)



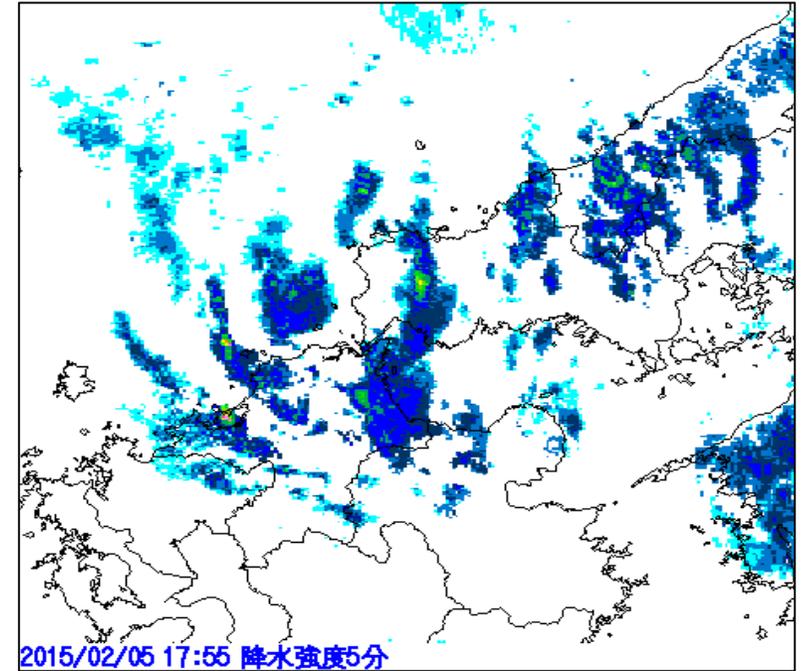
Tモード (Transverse-mode)
鉛直の風の差が大きい場合

現象の特性を把握 ～代表的な大雪パターン2

日本海寒帯気団収束帯



冬型気圧配置の際に
山地を迂回した風が風下で合流収束し、雲が発達する。
風向きによっては九州に



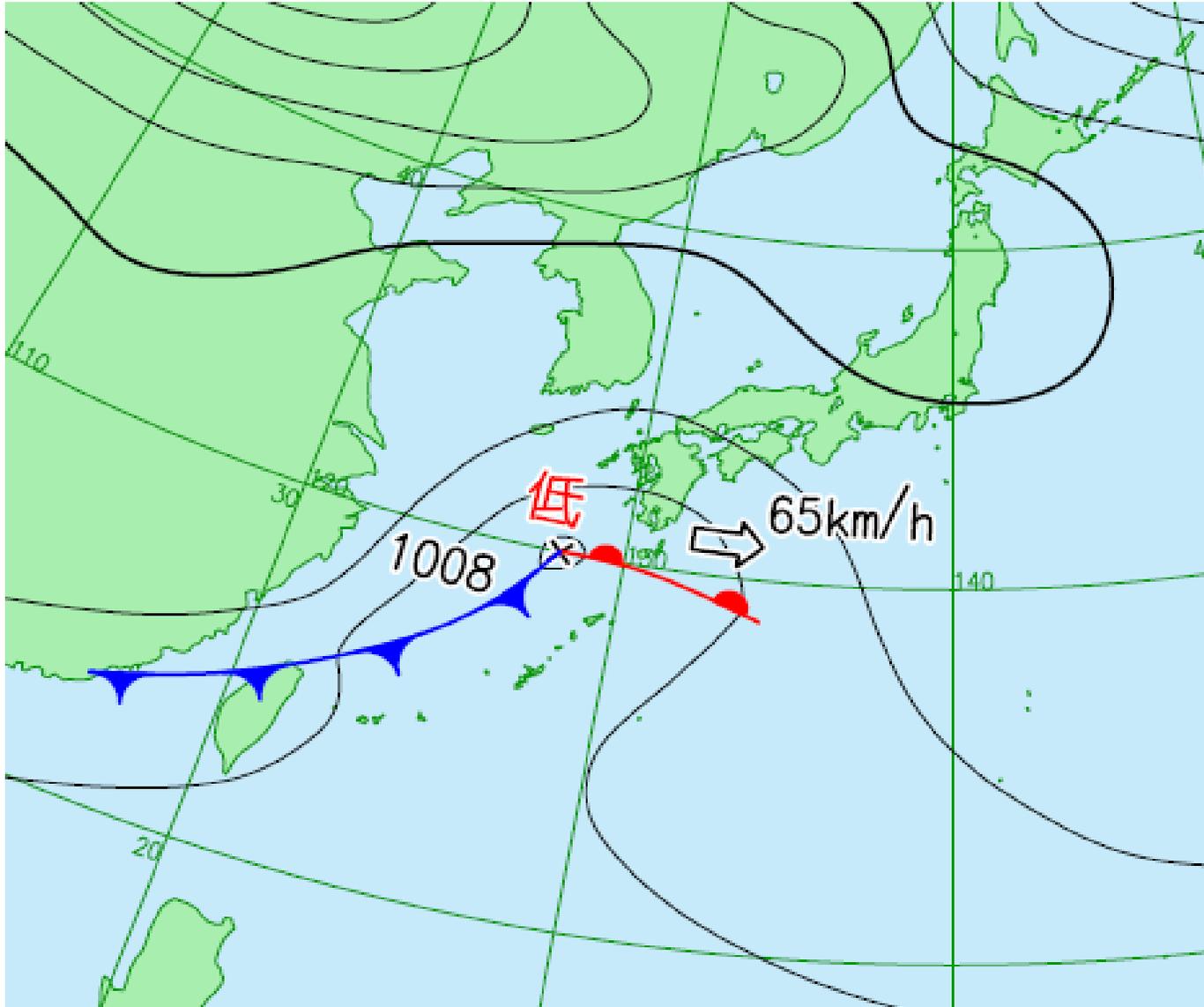
**Japan sea Polar air mass Convergence Zone
JPCZ(収束)**

対流は活発、気温は高め、湿潤
代表される注警報

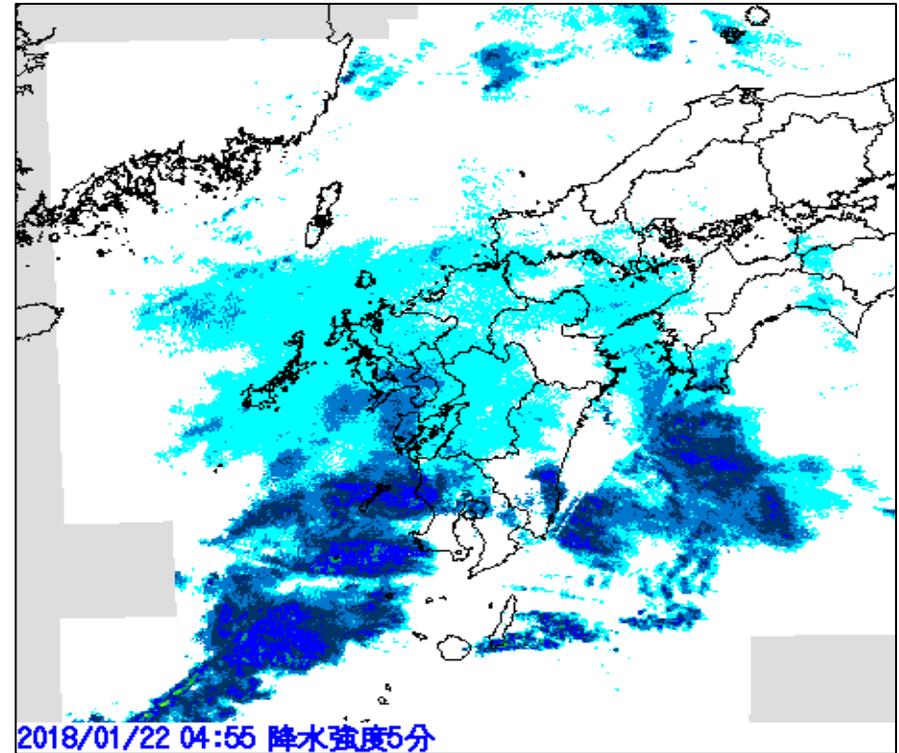
大雪、雷、着雪、(あられ)

現象の特性を把握 ～代表的な大雪パターン3

南岸低気圧



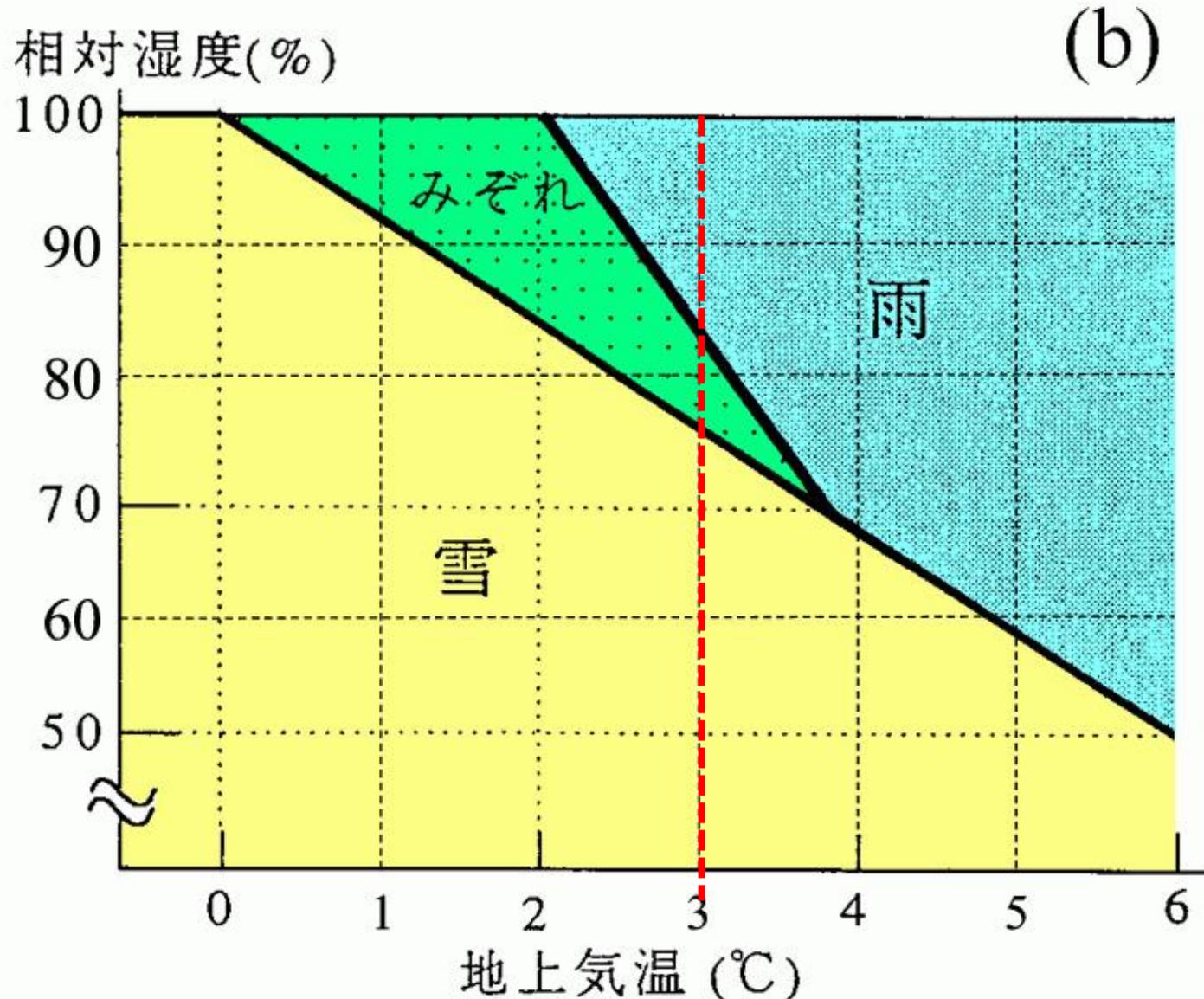
低気圧が九州南岸などを通り、
低気圧の北側を中心に雪となる



中層雲(滑昇流)
気温は高め、湿潤、一様性
代表される注警報
大雪(ボタ雪)、着雪

雨と雪の判別について

気温と湿度に依存



冬型の場合は
上空1500mが -6°C で地上が雪の目安

100m下がると $0.6\sim 1.0^{\circ}\text{C}$ 温度上昇

湿った空気

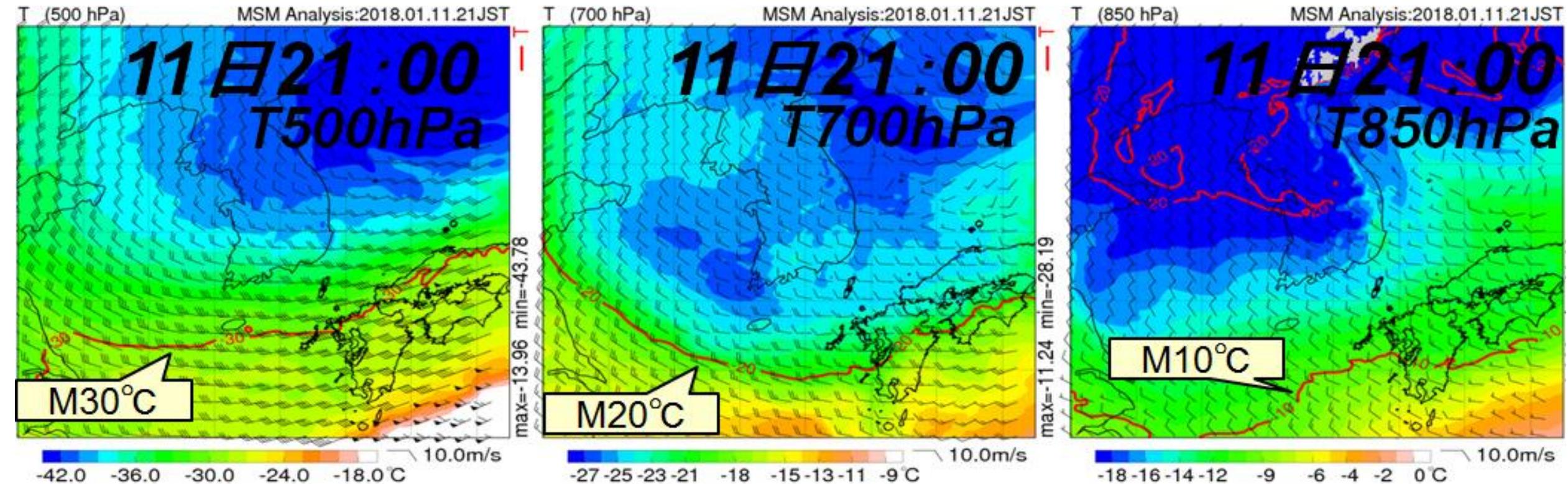
上空1500mの空気が地上0mになると

$\rightarrow 0.6 \times 15 = 9^{\circ}\text{C}$ 上昇

$\rightarrow -6^{\circ}\text{C} + 9^{\circ}\text{C} = 3^{\circ}\text{C}$

大雪予想の目安 ～冬型気圧配置1 気温

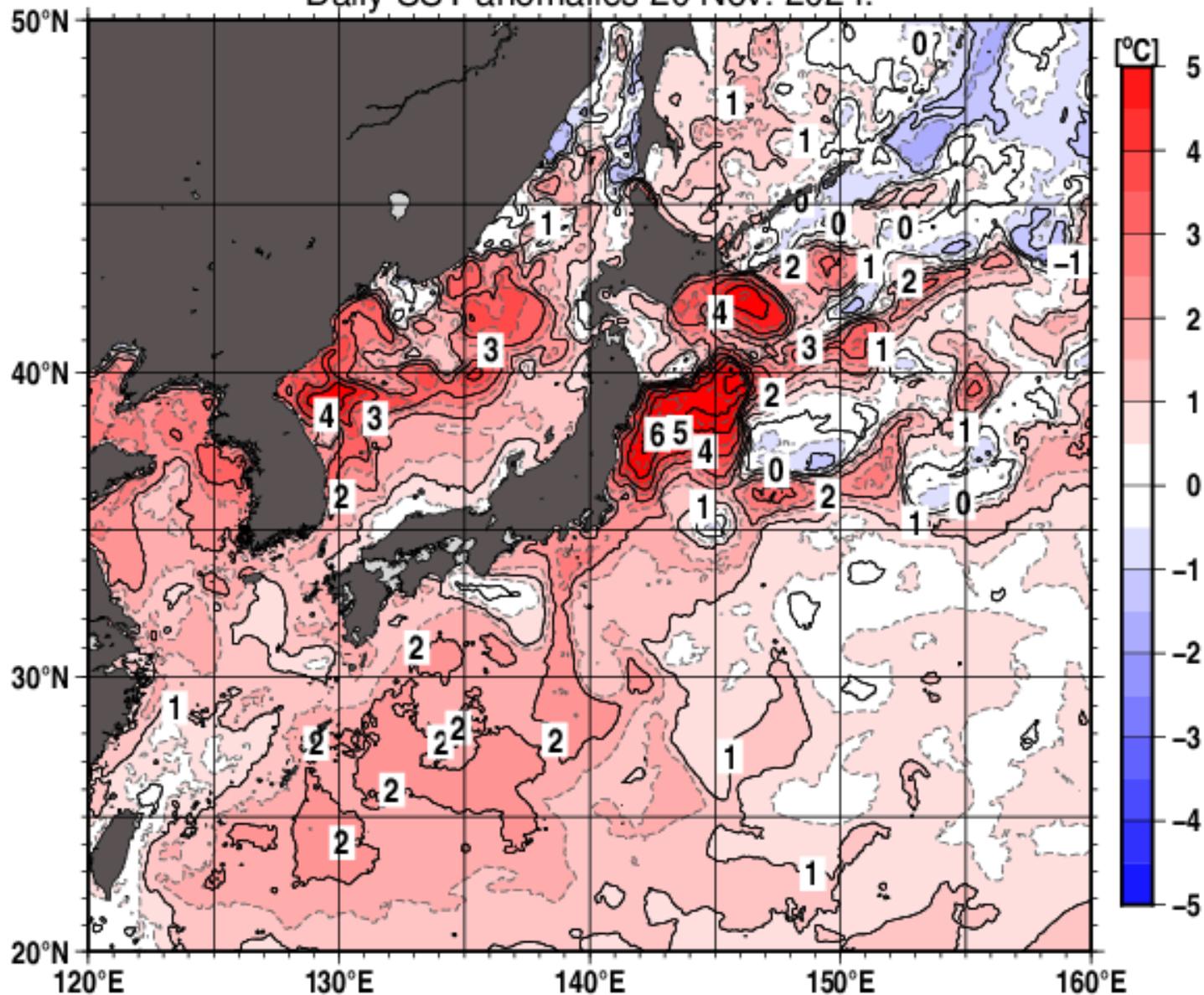
おおまかな大雪目安：500hPa $\leq -30^{\circ}\text{C}$ 、700hPa $\leq -20^{\circ}\text{C}$ 、850hPa $\leq -10^{\circ}\text{C}$



大雪予想の目安 ~冬型気圧配置2 温度

海面水温(平年との差)11月20日

Daily SST anomalies 20 Nov. 2024.



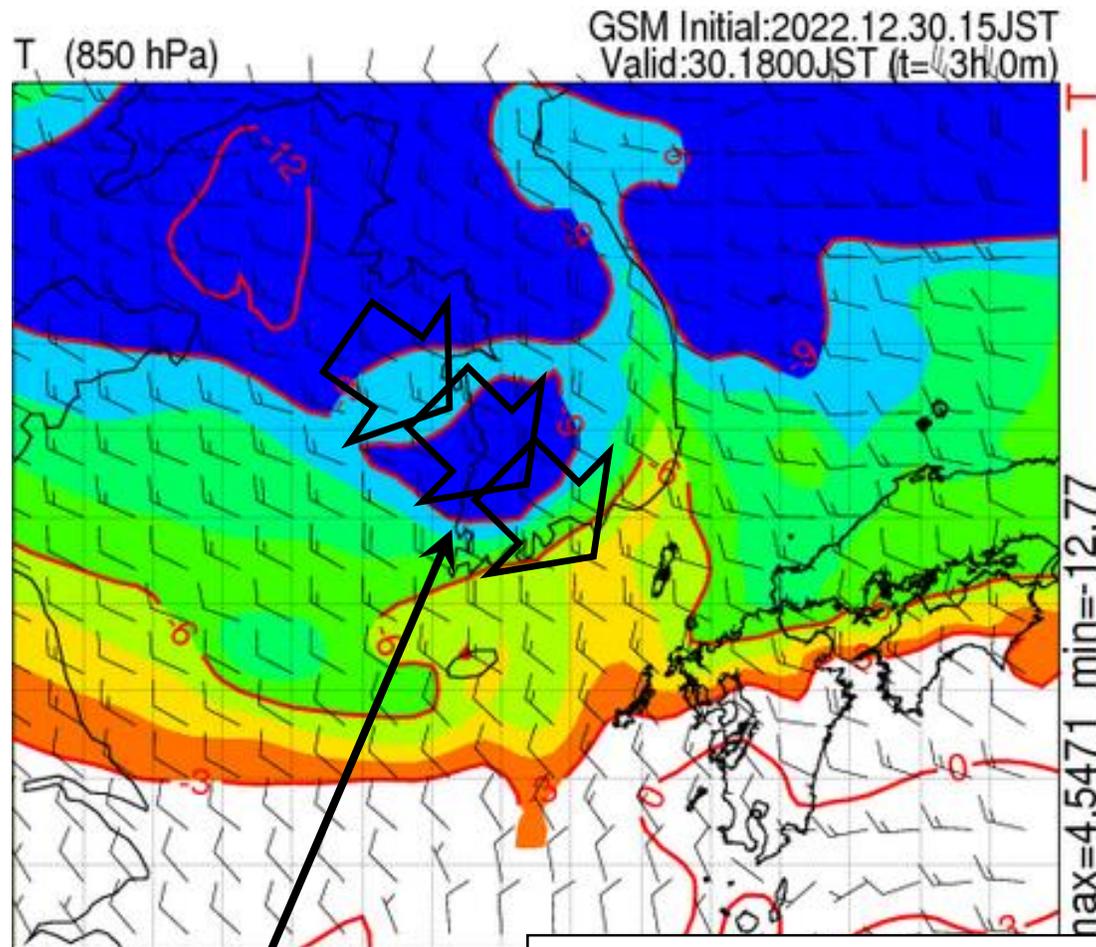
大陸の高気圧からくる空気は乾燥しています。日本海・対馬海峡・黄海の海面水温が高いと蒸発量が増え、空気中の湿度が増えることになります。

上空の気温も大事ですが、同程度の気温であれば海面水温が高いほうが雲が発生しやすくなります。

近年は平年よりも高い

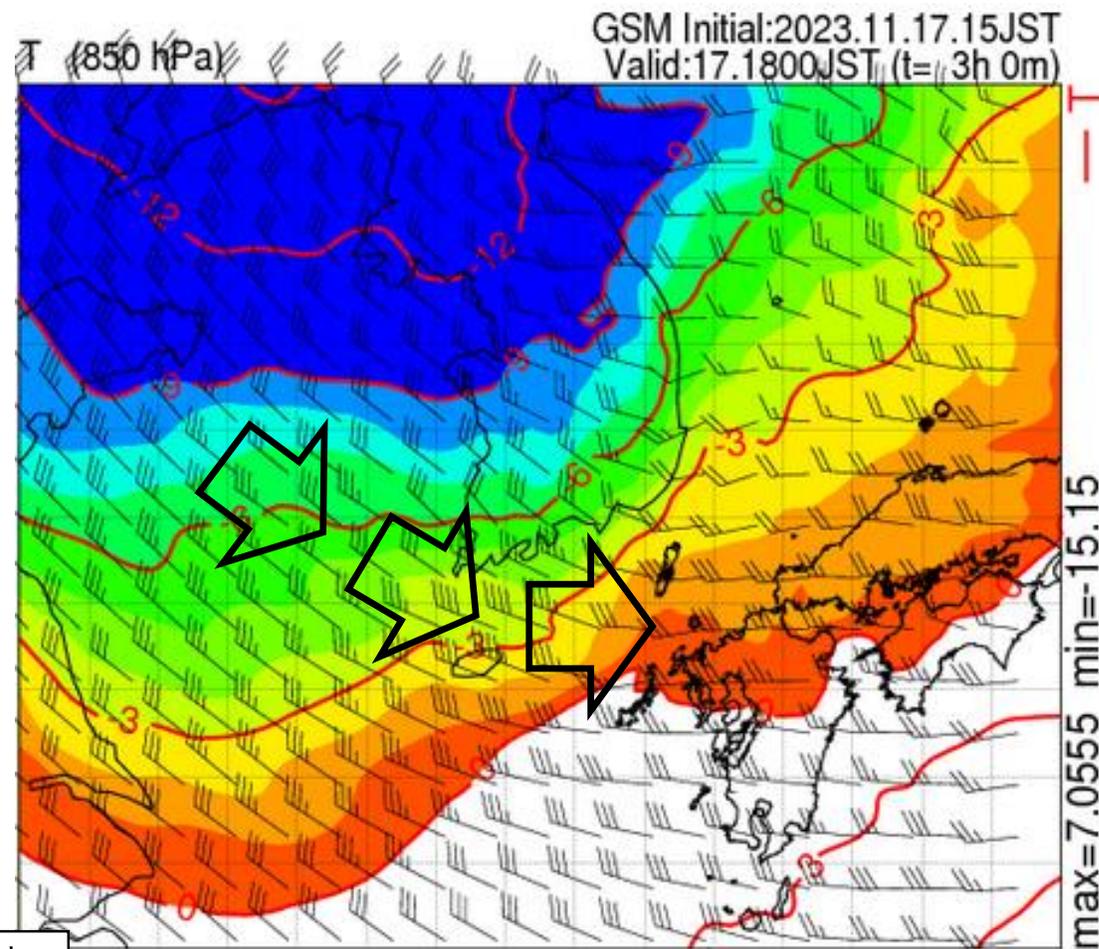
大雪予想の目安 ~冬型気圧配置3 風向

下層の風向による大雪の可能性



断熱加熱顕著

下層風が**北西**の場合には、朝鮮半島の風下の風下側の影響を受け、断熱加熱により**対流は抑制され、雲域は流れ込み難くなる。**

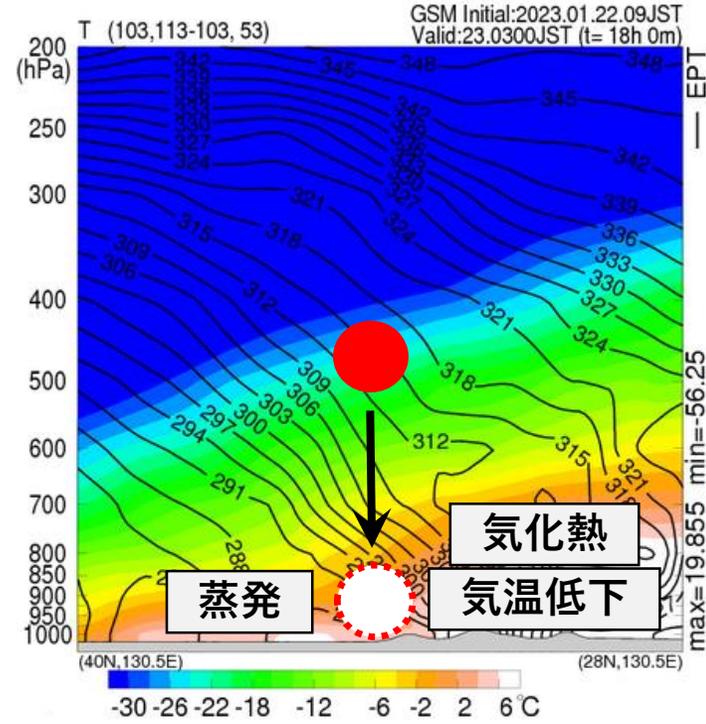
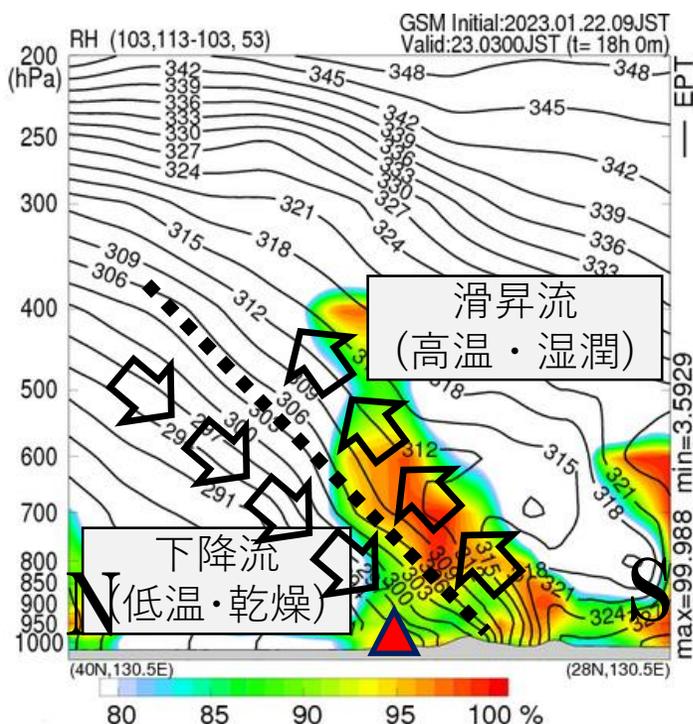
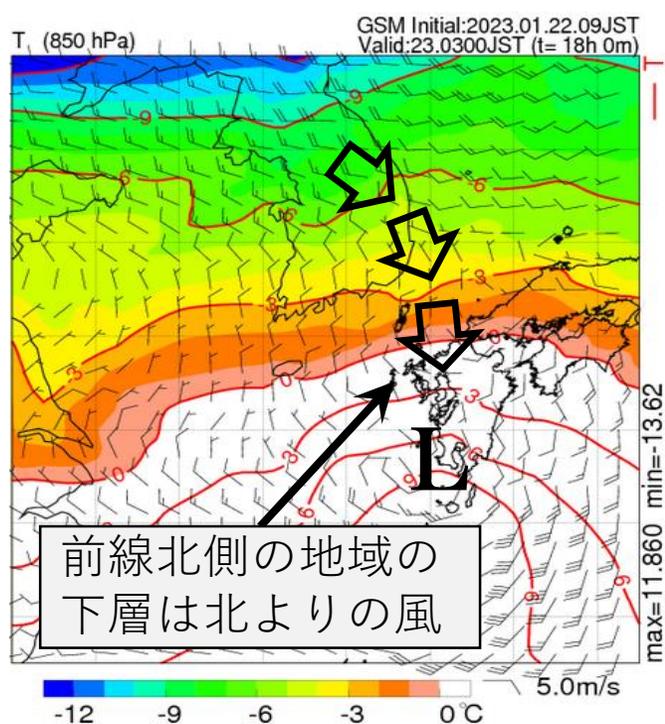


断熱加熱なし

下層風が**西**の場合には、朝鮮半島の影響を受けず、**雲域は流れ込み易い。**

雪になる目安 ～南岸低気圧

冬型気圧配置よりも下層温度は高くても雪になる。 雪目安：850hPa ≦ 0°C ~ -3°C



中層雲から降る雪が前線北側の乾燥した領域で蒸発すると、気化熱により地表付近の気温は下がる。



次第に降雪に適した環境になる

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応（全国版）

タイムライン	気象情報と対応	他機関との連携	被害
14-6日前	<p>早期天候情報</p> <p>大雪に関する早期天候情報<冬季の日本海側>の時期としては10年に1度程度しかおきかないような着しい降雪となる可能性が高まっているときに注意を呼びかけ</p>		
約5日前	<p>早期注意情報 (警報級の可能性)</p> <p>大雪に関する気象情報 (概ねの対象地域や予想降雪量を示し、大雪となる可能性を共有)</p>	<p>2-3日前</p> <p>大雪に対する緊急発表 (国交省と共同)</p>	
約1日前	<p>大雪注意報</p> <p>-12時間前</p> <p>大雪警報に切り替える可能性が高い</p> <p>大雪注意報</p> <p>記者会見 (大雪により社会的に影響が大きいと予想される場合に実施)</p>		
大雪の 半日~数時間前	<p>大雪に関する気象情報 (大雪に対する警戒を呼びかけ)</p>		
大雪の数時間 ~2時間程度前	<p>大雪警報</p> <p>(大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)</p> <p>大雪に関する気象情報 (大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ)</p> <p>降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想される場合</p> <p>見出し文の形式情報</p> <p>重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることを見込まれる場合</p>	<p>1日前</p> <p>状況に応じ随時関係機関と協議して報道対応など実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の間引き運転(少雪地) ・高速道路の通行止 ・交通機関の運休 ・立ち往生車両の発生 ・農業用ハウスや簡易的な建物の倒壊 ・幹線道路の通行止 ・孤立集落の発生 ・大規模な交通渋滞
大雪となる	<p>大雪特別警報</p> <p>記者会見 (大雪に対する最大級の警戒を呼びかけるために実施)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の倒壊
雪の降り方が一層激しくなり、記録的な大雪のおそれがある			
広い範囲で数十年に一度の大雪			

大雪に関する早期天候情報

大雪または雪に関する早期天候情報の発表地域

顕著な大雪に関する情報

対象
北陸地方、山形県、近畿地方、中国地方
福島県（会津）

九州では発表しない情報

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

大雪注意報、大雪警報の基準

大雪注意報・警報の基準は降雪量。積雪量でなく、指数でもない。

降雪量基準値	九州北部地方	山口県	鹿児島地方	種子・屋久島地方	奄美地方	宮崎
警報（山地）	20cm/12h	30cm/12h	15cm/12h	基準なし	基準なし	20cm/12h
警報（平地）	10cm/12h	10cm/12h	10cm/12h	基準なし	基準なし	10cm/12h
注意報（山地）	5cm/12h	15cm/12h	5cm/12h	基準なし	基準なし	5cm/12h
注意報（平地）	3cm/12h	5cm/12h	3cm/12h	基準なし	基準なし	3cm/12h

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

早期注意情報

2～5日前

対象期間は、明後日予報～5日先、対象地域は**府県**ごと

現象～1日前

対象期間は、今日～明日予報、対象地域は**一次細分**ごと

福岡県福岡地方		11日		12日			13日	14日	15日	16日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	[中]
	6時間最大	0	0	0	0	0				
	24時間最大				0					

福岡県筑後地方		11日		12日			13日	14日	15日	16日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雪	上段：平地、下段：山沿い ※山地(200m以上)の意		[高]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]	[中]	[中]
	6時間最大		3	3	3	3				
	24時間最大		山沿いでは9	山沿いでは10	山沿いでは10	山沿いでは10	山沿いでは10			

24時間	20cm以上、30cm未満
------	---------------

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

注意喚起、緊急発表（記者発表、記者会見）

2～3日前 注意喚起 ⇒ 大雪警報以上（早期注意情報[高]）

令和5年1月20日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区气象台
NEXCO 西日本九州支社

大雪による積雪・路面凍結に注意

～ 冬用タイヤやチェーンの早期装着を ～

○九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み大雪となるおそれがあります。【別紙－1】

○道路利用者の皆様へお願いします。

- ・雪による見通しの悪化、積雪・路面の凍結が発生するおそれがありますので不要不急の外出はできるだけ控えていただくようお願いいたします。
- ・普段雪が降らない地域においても、突然の大雪となる場合がありますので、立ち往生等に警戒が必要です。
- ・ノーマルタイヤの車両は立ち往生し深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こすおそれがありますので、やむを得ず車でお出かけされる場合は、冬用タイヤやチェーンの装着をお願いします。
- ・積雪または凍結した道路ですべり止めの措置をとらない運転は、法令違反※となります。

※都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて規定されています

・お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報の確認をお願いします。【別紙－2】

○国土交通省九州地方整備局が管理する道路では、あらかじめ設定している「予防的通行規制区間」【別紙－3】において、集中的・効率的に除雪作業を実施するため通行止めを行う場合があります。

○高速道路においても、降雪や路面状況に応じて通行止めを行う場合があります。

○積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が同時に通行止めとなる場合があります。

○公共交通機関においても、遅延や運休が発生する場合があります。交通事業者の発表する情報、テレビ・ラジオ等の報道による情報の他、「九州のりもの info.com（災害時等公共機関別運行（航）情報システム）」[<http://www.norimono-info.com/>]により、最新の運行（航）情報をご確認のうえ、外出が必要な場合は十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

「大雪による積雪・路面凍結に注意」 令和5年1月20日 別紙－1

【道路利用者の皆様への呼びかけ】

- 九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、山地平地ともに大雪となるおそれがあります。
- 普段雪が降らない地域においても、突然の大雪となる場合がありますので、立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出はできるだけ控えていただくようお願いします。
- ノーマルタイヤの車両は立ち往生し深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こすおそれがありますので、やむを得ず車でお出かけされる場合は、冬用タイヤやチェーンの装着をお願いします。
- 平成27年2月5日から6日の大雪により、大分県の国道210号において、事故をきっかけに、車輛約100台の渋滞が発生し、停止車輛が多数発生するなどし、約9時間の通行止めが発生しました。
- お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報の確認をお願いします。

【1. 今後の気象の見通し】

大雪の予想

◆1月24日から25日にかけて、九州北部地方の上空およそ1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。このため、九州では山地平地ともに大雪となるおそれがあります。

大雪の早期注意情報(警報級の可能性)

	22日	23日	24日	25日
九州北部地方※	-	-	[中]	[中]
九州南部	-	-	-	-

※九州北部地方は山口県を除く

◆気象庁HP「今後の雪」

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

◆最新の気象情報をご利用ください。

【2. 過去の大雪による警害事例】

平成27年2月5日から平成27年2月6日にかけての大雪

- ◆通行止め箇所：国道210号（大分県）
- ◆通行止め期間：平成27年2月5日19時37分～平成27年2月6日5時00分（約9時間）
- ◆災害対策基本法に基づく路線の指定：21.4km（通行止め延長）
- ◆事故による渋滞「車両台数：約100台」
- ◆区間内停止車両台数：15台（うち運転手不在4台）
- ◆改正災害対策基本法適用（九州初）



段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

注意喚起、緊急発表（記者発表、記者会見）

1日前 注意喚起 ⇒ 山地で大雪警報以上、平地で大雪注意報以上
 緊急発表 ⇒ 平地で大雪警報以上
 記者発表 ⇒ 平地で大雪警報基準の2倍程度
 記者会見 ⇒ 平地で大雪特別警報を発表する場合

令和5年1月23日
 九州地方整備局
 九州運輸局
 福岡管区气象台
 NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

～不要不急の外出は控えください～

- 九州では1月24日から25日にかけて、この冬一番の寒気が流れ込み、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。【別紙-1】
- 九州の広い範囲において、**高速道路や主要幹線道路の通行止め**が発生する場合があります。積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が**同時に通行止め**となる場合があります。
- 道路利用者の皆様へお願いです。
 - ・不要不急の外出は避けてください。
 - ・お出かけの予定の変更や運送日の調整等をお願いします。
 - ・昨年12月のクリスマス寒波では、冬用タイヤ未装着による大きな走行速度低下がありました。大雪の場合に、やむを得ず車でお出かけされる場合は、**冬用タイヤやチェーンを必ず装着**してください。
 - ・最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
 - ・今回は、**立ち往生等が発生するような大雪**が見込まれているため、十分に警戒してください。
- 公共交通機関においても、**大規模かつ長時間にわたる遅延や運休**が発生する場合があります。交通事業者の発表する情報、テレビ・ラジオ等の報道による情報の他、「九州のりものinfo.com（災害時等公共機関別運行（航）情報システム）」
 [http://www.norimono-info.com/]により、最新の運行（航）情報をご確認のうえ、外出が必要な場合は十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

「大雪に関する緊急発表」 令和5年1月23日 別紙-1

【道路利用者等への呼びかけ】

- 九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。
- 平地で10cm以上の積雪となり、**立ち往生等が発生する危険性の高い大雪**が見込まれているため、十分に警戒してください。
- 路面の凍結、集落の孤立、着雪による停電や倒木にも注意が必要です。
- 九州においても、平成28年1月23日からの大雪により、福岡県、佐賀県の国道3号や国道34等において、大規模な渋滞が発生しました。
- ドライバーの方々には、**不要不急の外出は避けてください**。やむを得ず運転する場合は、冬用タイヤやチェーンの装着してください。冬用タイヤでも走行できない恐れがありますので、**タイヤチェーンを必ず携行・装着**してください。
- お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報を確認**してください。

【1. 今後の気象の見通し】

大雪の予想

- ◆1月24日から25日にかけて、九州北部地方の上空およそ1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込み見込みです。このため、九州では24日夕方から25日にかけて、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。

大雪の早期注意情報（警報級の可能性）

日	23日		24日		25日
	12~18	18~06	06~24		
九州北部地方※	-	-	高	高	高
九州南部	-	-	高	高	高

24時間降雪量の予想（多い所） 単位：センチ

	24日6時～25日6時	
	九州北部地方※	九州南部
	平地：10～20、山地：20～40	平地：5～10、山地：10～20

※九州北部地方は山口県を除く

◆気象庁HP「今後の雪」

https://www.jma.go.jp/bosai/snow/

◆最新の気象情報をご利用ください。

【2. 過去の大雪による道路交通障害】

平成28年1月23日から1月26日にかけての大雪

- 九州全域で高速道路や主要線道路において、通行止めや交通渋滞等の**交通障害**が発生。
- 九州縦貫自動車道が長時間の通行止めとなり、周辺の国道3号や国道34号等において、**大規模な渋滞**が発生。

【参考】

国道3号（太宰府IC～広川IC間、延長約35km）の所要時間
 通常時…約1時間
 大雪時…約6時間
 ※大雪時：平成28年1月の大雪時



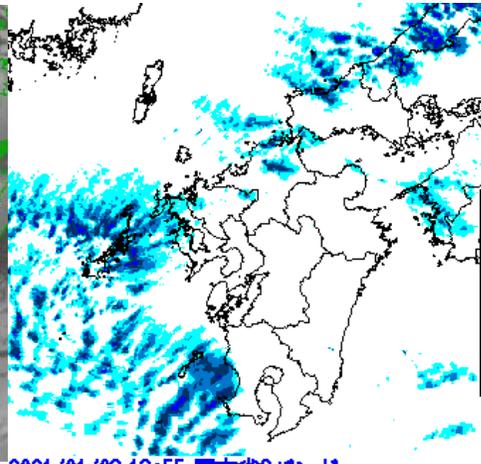
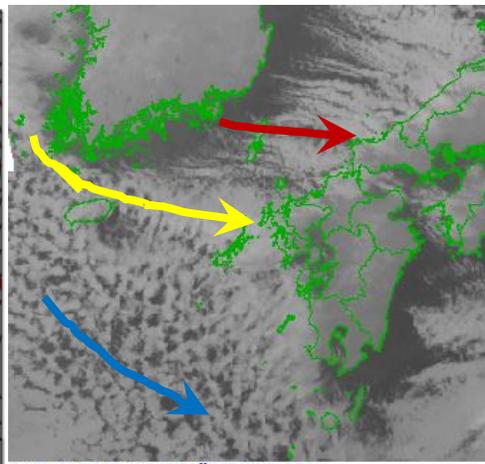
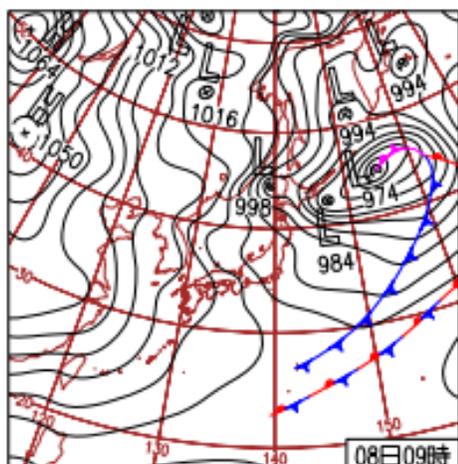
▲立ち往生車両の発生状況（鳥栖市）



▲国道3号の渋滞状況（福岡県筑紫野市上空）

2021年（令和3年）1/8-9の九州の大雪（緊急発表実施）

■1月8日



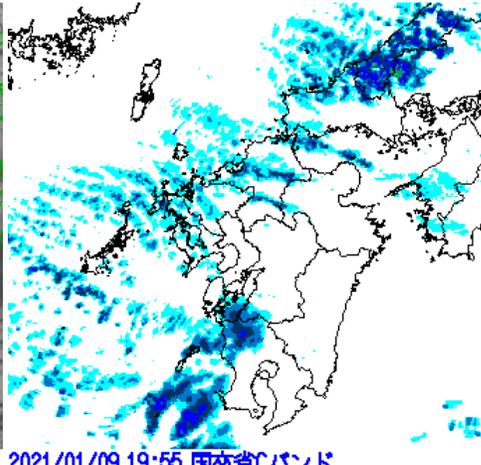
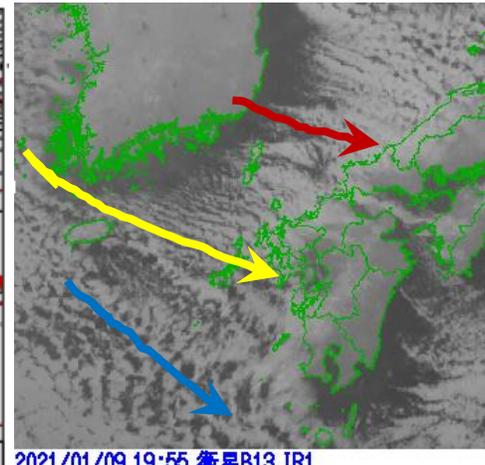
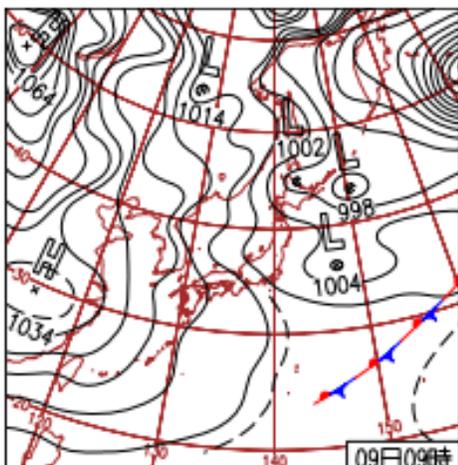
2021年1月8日21時

	福岡	鹿児島
上空約5400m	-31.5	-22.4
上空約3000m	-23.1	-18.3
上空約1500m	-12.3	-8.6
上空約500m	-6.3	-5.3

2021/01/08 19:55 衛星B13 IR1

2021/01/08 19:55 国交省Cバンド

■1月9日



2021年1月9日21時

	福岡	鹿児島
上空約5400m	-33.5	-25.8
上空約3000m	-20.9	-16.3
上空約1500m	-11.0	-6.9
上空約500m	-5.0	-3.3

2021/01/09 19:55 衛星B13 IR1

2021/01/09 19:55 国交省Cバンド

【最深積雪】

- ・福岡 2cm
- ・佐賀 8cm
- ・熊本 -cm
- ・飯塚 24cm
- ・長崎 15cm
- ・鹿児島 3cm

大雪に関する福岡県気象情報 第11号

令和3年1月9日21時50分 福岡管区気象台発表

（見出し）
筑豊地方では、数年に一度の大雪となっています。10日明け方にかけて、大雪、路面の凍結による大規模な交通障害等に厳重に警戒してください。

（本文）
<雪の実況>
9日21時現在の積雪の深さ（速報値）
飯塚 23センチ

■雪予想の目安

	地上	850hPa	700hPa
雪	3°C	-6°C	-15°C
山地大雪	0°C	-9°C	-18°C
平地大雪	-3°C	-12°C	-20°C

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

大雪に関する福岡県気象情報

大雪は注意報級で気象情報を発表！

12時間～24時間前

<雪の予想>

24日6時から25日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山口県山地	40センチ
福岡県山地	30センチ
佐賀県山地	25センチ
長崎県山地	25センチ
大分県山地	30センチ
熊本県山地	25センチ
山口県平地	20センチ
福岡県平地	15センチ
佐賀県平地	15センチ
長崎県平地	15センチ
大分県平地	15センチ
熊本県平地	15センチ

山地と平地を区別

その後、25日6時から26日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山口県山地	10から20センチ
福岡県山地	1から5センチ
佐賀県山地	1から5センチ
長崎県山地	1から5センチ
大分県山地	1から5センチ
熊本県山地	1から5センチ
山口県平地	1から5センチ
福岡県平地	1から5センチ
佐賀県平地	1から5センチ
長崎県平地	1から5センチ
大分県平地	1から5センチ
熊本県平地	1から5センチ

24時間以降も
幅を持たせた表現
ではなくなります。

(山地は標高200メートルを超える地域)

気象情報で使用する場合の表現
1センチ
3センチ
5センチ
7センチ
10センチ
15センチ
20センチ
30センチ
40センチ
50センチ
70センチ
100センチ
130センチ
160センチ

雪に関する〇〇県気象情報

注意報基準に関係なく、冬季における最初の積雪や大学入学共通テストの様に社会的影響が大きい場合に発表する。

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

大雪に関する福岡県気象情報

冬型気圧配置

(本文)

九州北部地方は、12月30日頃から1月3日頃にかけて、上空約1500メートルに氷点下12度以下の強い寒気が流れ込む見込みです。

このため、福岡県では季節風が強まり大荒れの天気となるおそれがあります。山地を中心に大雪となり、平地でも積雪のおそれがあります。また、気温は平年より低い状態が続き、かなり低くなる日もあるでしょう。降雪や気温の低下による農作物への影響、交通障害のおそれがありますので注意して下さい。

強風や高波、大雪、落雷や突風に注意してください。

筋状の雲 (Longitudinal-mode)

風が強く、気温は低く、乾燥

代表される注警報

大雪、暴風雪、低温、(着雪)

南岸低気圧

(本文)

▲▲日は、前線を伴った低気圧が、九州の南海上を北東へ進む見込みです。九州北部地方では、地上付近の気温が低いため、雪か雨が降るでしょう。

▲▲日××から××にかけて、山地では大雪となる所があり、平地でも雪が積もる所があるでしょう。

<雪の予想>

■■日◆◆時から▲▲日◆◆時までの降雪の深さ (多い所)

山地 (標高200メートルを超える地域)

熊本県、大分県 10センチ

<防災事項>

降雪や路面凍結による交通障害、電線や樹木の着雪に注意してください。

農作物や農業施設の管理にも注意してください。

中層雲(滑昇流)

気温は高め、湿潤、一様性

代表される注警報

大雪(ボタ雪)、着雪

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

大雪に関する福岡県気象情報

一層の警戒を呼び掛ける府県情報

大雪に関する気象情報（大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ）

降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合や、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想され、重大な災害の発生の可能性が高まり、一層の警戒が必要となる場合に発表する気象情報

- 厳重な警戒を呼びかける、文章形式または見出し文のみの短文形式の気象情報

暴風雪と高波及び大雪に関する福岡県気象情報 第〇号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 福岡管区気象台発表

（見出し）

〇地方において、数年に一度の大雪が見込まれています。〇日〇にかけて、大雪、路面の凍結による大規模な交通傷害等に厳重に警戒してください。

（本文）

なし

暴風雪と高波及び大雪に関する福岡県気象情報 第〇号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 福岡管区気象台発表

（見出し）

降雪量は、令和〇年〇月〇日の大雪を超える見込みです。

（本文）

なし

段階的に発表される大雪に関する気象情報と対応

大雪特別警報

記録的な大雪（府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深）となり、
且つ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表。



各地点における50年に一度の積雪深(cm)

0-50

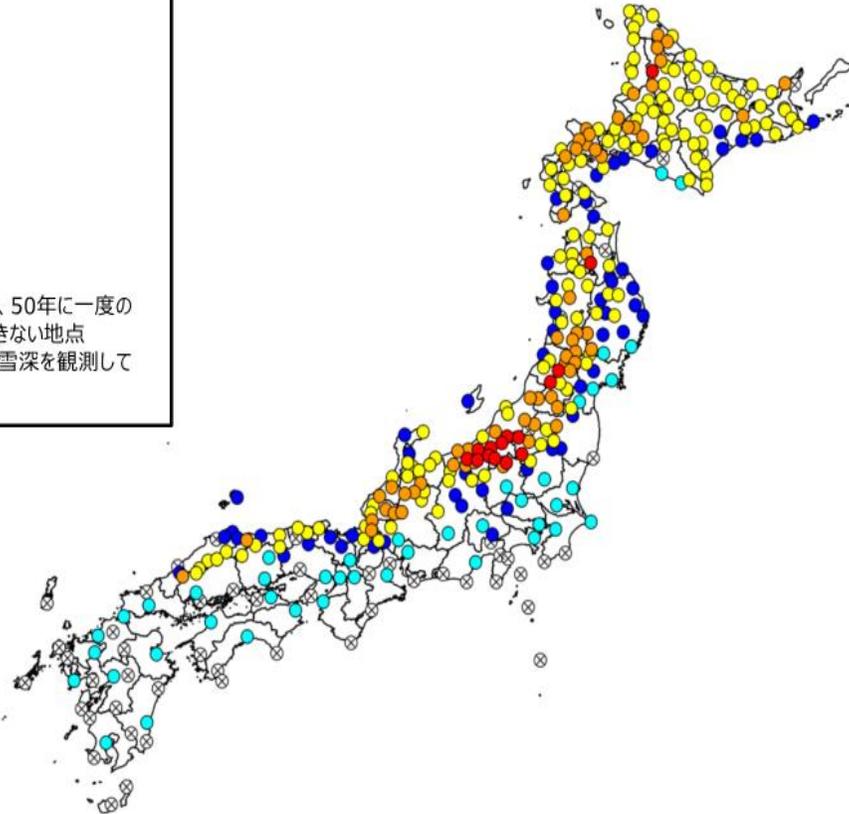
51-100

101-200

201-350

351-600

⊗ データ不足のため、50年に一度の積雪深が算出できない地点
もしくは、現在積雪深を観測していない地点



大雪特別警報発表目安

少雪地（九州や太平洋側）は、50年に1度の積雪深もごく小さいこと（信頼性が低いため）、
参考値として扱う。

「大雪警報を発表した後、さらに丸一日程度警報級の降雪が発現すると予想される時」発表について検討を開始する。

大雪特別警報解除目安

全ての二次細分区域（市町村）で大雪警報の発表基準を下回った場合に特別警報の対応を終了することを基本とする。（特別警報から注意報へ切り替え）

大雪に関する気象情報、大雨との違い

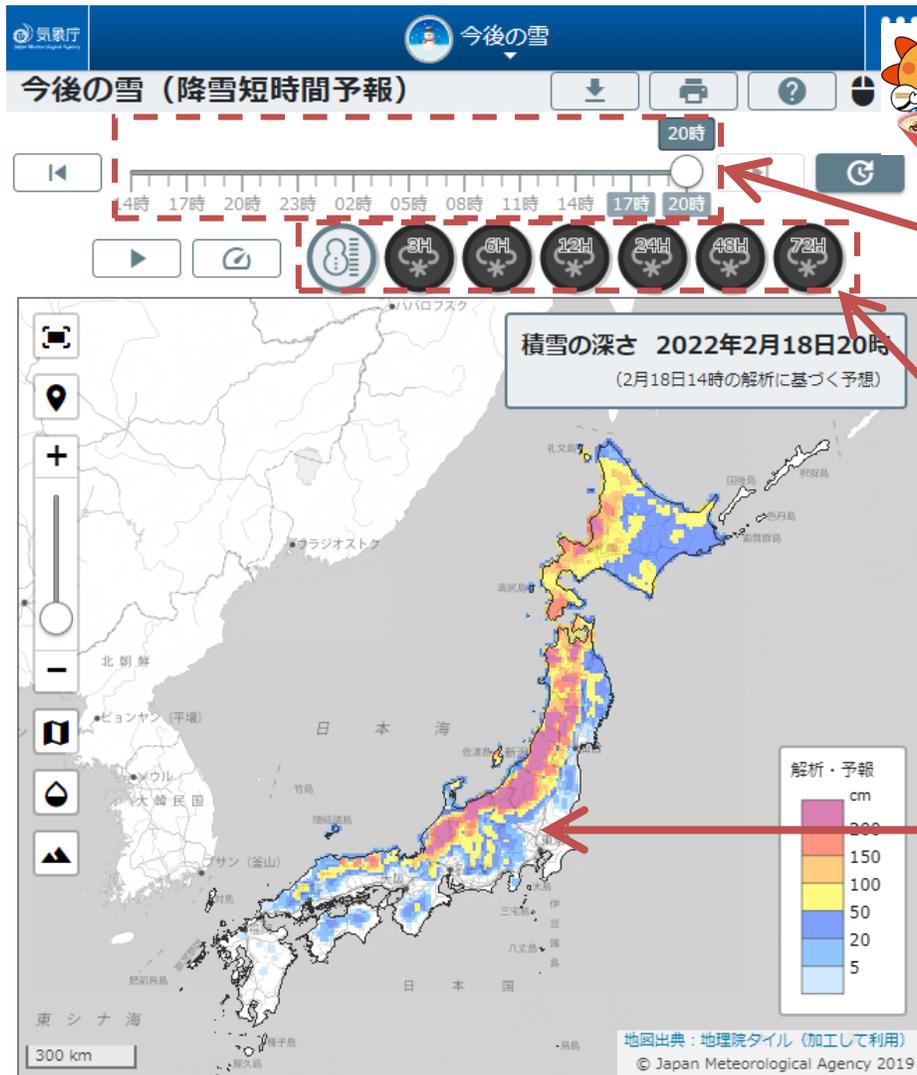
タイムライン	気象情報など	大雪	大雨
6日～14日	早期天候情報	×（九州は発表なし）	○
～5日先	早期注意情報	○	○
12時間～24時間	予告的気象情報	○（注意報以上を対象）	○
6時間～12時間	注意報	○	○
6時間～12時間	警報を言及した注意報	○	○
3時間前程度	警報	○（3時間～6時間）	○（2時間～3時間）
	注意報や警報の基準	降雪量 （積雪量ではない）	指数
	顕著な大○に関する気象情報	×（九州は発表なし）	○
	気象情報（短文情報）一層の呼びかけ、 嚴重警戒	○	○
	特別警報	○	○
	警戒レベル	×（紐付けなし）	○
現象後	低温注意報（寒気+放射冷却）	降雪とセットで常に想定	

解析積雪深・解析降雪量、降雪短時間予報

気象庁HP「今後の雪」

解析積雪深・解析降雪量：積雪と降雪の解析値の分布
降雪短時間予報：6時間先までの積雪・降雪の予測分布

⇒ 気象庁HP「今後の雪」で地図に重ねて表示



気象庁HP「今後の雨」の雪版

過去24時間分の積雪の深さと降雪量、
および6時間先までの予報を、
一体的に確認することが可能

クリックして要素選択



積雪の
深さ

前3・6・12・24・48・72時間降雪量

国土地理院の地図情報
との重ね合わせ

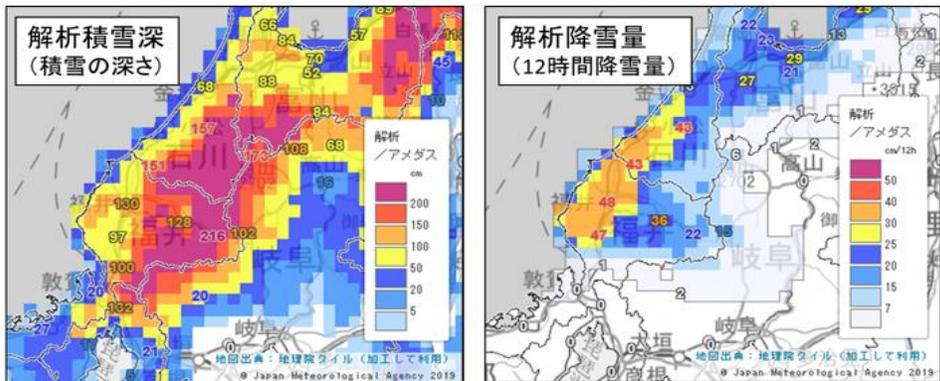
URL

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>



解析積雪深・解析降雪量、降雪短時間予報

解析積雪深・解析降雪量



解析積雪深と解析降雪量の描画例(平成30年2月6日12時。日本時間)
数字はアメダスの積雪計の観測値。単位はセンチメートル。



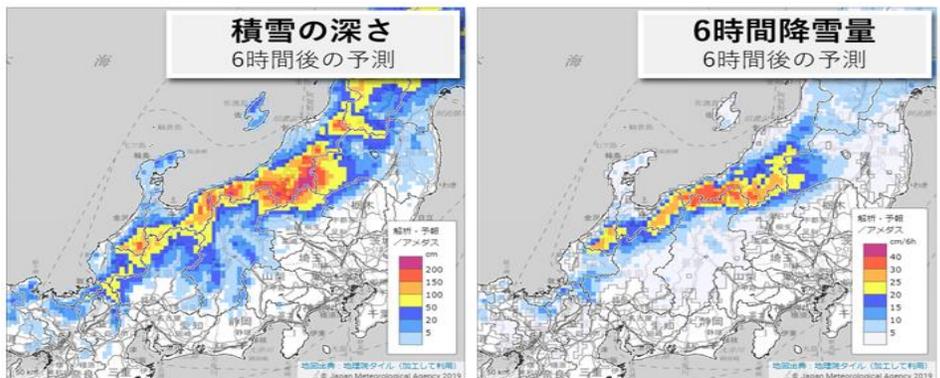
解析雨量の雪版

解析積雪深・解析降雪量は、積雪の深さと降雪量の実況を1時間ごとに約5km四方で推定するものです。(降水は1km格子)

解析積雪深は、解析雨量や局地数値予報モデル(LFM)などの因子などを積雪変質モデルに与えて積雪の深さを計算した後、アメダスの積雪計の観測値で補正することにより作成されます。

解析降雪量は、解析積雪深が1時間に増加した量を1時間降雪量として作成します。例えば、9時の解析降雪量は解析積雪深が8時から9時までに増加した量となります。なお、解析積雪深が減少した場合は0となります。

降雪短時間予報



降雪短時間予報の「積雪の深さ」と「降雪量」の予測の描画例
(令和2年12月30日15時初期値。日本時間)



降水短時間予報の雪版

降雪短時間予報は、6時間先までの1時間毎の積雪の深さと降雪量を約5km四方で面的に予測したもので、1時間毎に発表します。解析積雪深を初期値とし、降水短時間予報の降水量や局地数値予報モデル(LFM)の気温、日射量などの予測値を解析積雪深と同じ積雪変質モデルに与えます。

ご清聴ありがとうございました。

気象台と報道機関との連携が重要！

